

国語

知識・技能	
趣旨	社会生活に必要な言語に関する知識、情報の扱い方、言語文化について、その特質を理解し適切に使っている。
評価の 視点	○言葉の特徴や使い方に関する事項→様々な表現技法や漢字、文法の知識を正しく使用している。 ○情報の扱い方に関する事項→読書をはじめとした様々な媒体から最適なメディアを用いて正しい情報を得ることができる。 ○我が国の言語文化に関する事項→古文や漢文、書写、日本の多様な言語の知識を実生活に生かしている。
評価の 内容・方法	授業時の様子、ワークシート、定期考査、小テスト、暗唱テスト、作品など

思考・判断・表現	
趣旨	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げている。
評価の 視点	○話すこと・聞くことに関する事項→スピーチや話し合い活動などにおける話す姿勢、聞く姿勢が的確である。 ○書くことに関する事項→文章を正確に読み取り、論理的に考えたり、深く共感したりし、自分の思いや考えを深めて表現している。 ○読むことに関する事項→作者や登場人物の考えや主張、文章構成や論理展開を正しく理解できている。
評価の 内容・方法	授業時の様子、定期考査、作文、聞き取りテスト、スピーチ、ワークシート、授業時の発表、提出物の内容など

主体的に学習に取り組む態度	
趣旨	学習の見通しをもって自発的に粘り強く取り組み、思いや考えを的確に広げたりしている。
評価の 視点	○授業の取り組みやグループ活動などにおいて、主体的に学びに向かう姿勢を身につけている。特にグループ活動では自分の考えを積極的に発表するとともに周囲の意見を尊重している。
評価の 内容・方法	授業中の様子、振り返りシート、ワークシート、提出物の有無および内容、挙手・発表の内容 グループでの話し合いなど

社会

知識・技能	
趣旨	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。
評価の 視点	○各分野、各単元の学習内容を理解し、知識を身に付けているか。 ○地図、写真、グラフ、統計資料からの情報を適切に収集、選択して読み取り、図表や文章にまとめることができるか。
評価の 内容・方法	授業中や活動の様子を観察、発表の内容、ワークシート、小テスト、定期考査など

思考・判断・表現	
趣旨	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。
評価の 視点	○各単元で学習した知識をもとに、多面的・多角的に思考、判断したことを、自分の言葉で表現することができるか。 ○社会的事象の意義や特色、相互の関連についてどのように考察し、表現しているか。
評価の 内容・方法	授業中や活動の様子を観察、話し合い活動、発表の内容、ワークシート、意見文、定期考査など

主体的に学習に取り組む態度	
趣旨	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。
評価の 視点	○よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしているか。 ○現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしているか。 ○自ら問題解決に取り組んでいるか。
評価の 内容・方法	授業中や活動の様子を観察、調べ学習等の発表内容、ノートやワークシート等における記述、単元の振り返り、自己評価、相互評価など

数学

知識・技能	
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
評価の 視点	<ul style="list-style-type: none"> 数量・図形に関する知識が豊富で、よく理解している。 数学的な知識・理解をもとに、実際に計算や作図、グラフをかいたり等、具体的な操作を行うことができる。
評価の 内容・方法	提出物(ノート、プリント、ワーク等) 問題演習 発言 発表 定期考査・小テスト など

思考・判断・表現	
趣旨	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。
評価の 視点	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決に対し、積極的に数学的な知識や技能を導入し、筋道を立てて、解決に導くことができる。 物事を多面的にとらえ、様々な解決方法を想起、実践して、問題を解決することができる。
評価の 内容・方法	提出物(ノート、プリント、ワーク等) 問題演習 試行的実験演習 グループでの話し合い 発言 発表 定期考査・小テスト など

主体的に学習に取り組む態度	
趣旨	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。
評価の 視点	<ul style="list-style-type: none"> 数学の必要性和意味を考え、学んだことを日常生活や今後の学習に生かそうとしている。 自分なりに考察したり、他者の考えに触れたりすることで、問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
評価の 内容・方法	提出物(ノート、プリント、ワーク等) グループでの話し合い 授業への取り組み レポート 振り返りシート など

理科

知識・技能	
趣旨	・観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・事象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。 ・自然の事物・事象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
評価の 視点	○実験・観察を行い、結果をまとめることができるか。 ○実験器具を正しく取り扱うことができるか。 ○各分野、各単元の学習内容を理解し、知識を身に付け、正しく理解できるか。
評価の 内容・方法	定期考査 小テスト 実験時の考察・レポート 実験器具の取り扱いなど

思考・判断・表現	
趣旨	・自然の事物・事象の中に問題を見出し、目的意識をもって観察、実験などを行い、事象や結果を分析している。
評価の 視点	○実験・観察の結果から、問題を見出し、規則性を見つけ出すことができるか。
評価の 内容・方法	定期考査 小テスト 実験時の考察・記録・レポート など

主体的に学習に取り組む態度	
趣旨	・自然との事物・事象に進んでかかわり、それらを科学的に探究するとともに、事象を人間生活とのかかわりでみようとする。
評価の 視点	○調べ学習、話し合い活動、発表などに意欲的に取り組んでいたか。 ○提出物や宿題はきちんと提出し、提出するだけでなく、内容が充実しているか。
評価の 内容・方法	ノート ワーク プリント 授業・実験時の様子 発表・グループワークなど

音楽

知識・技能	
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や背景などのかかわり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱、器楽、創作で表している。
評価の 視点	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽表現をするために必要な技能を身につけて、表現しているか。 ○曲想と音楽の構造や背景などのかかわり及び音楽の多様性について理解しているか。
評価の 内容・方法	定期考査、実技試験、授業の取り組みなど、ワークシートなど 実技試験・授業の観察 グループワークなど

思考・判断・表現	
趣旨	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。
評価の 視点	<ul style="list-style-type: none"> ○思いや意図をもち、ふさわしい音楽表現をしているか。 ○音楽のよさを味わって聴き、それを音楽や言語で表現することができるか。
評価の 内容・方法	定期考査、実技試験、授業の取り組みなど、鑑賞シートなど 実技試験・授業の観察 グループワークなど

主体的に学習に取り組む態度	
趣旨	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。
評価の 視点	<ul style="list-style-type: none"> ○実技、グループワーク、パート練習、発表などに意欲的に取り組んでいたか。 ○提出物をきちんと提出し、内容が充実しているか。
評価の 内容・方法	実技試験、授業の取り組み、鑑賞シート、ワークシート、など 実技試験・授業の観察、発言、グループワーク、鑑賞ノート・ワークシートチェックなど

美術

知識・技能	
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・対象や事象をとらえる造形的な視点についてや美術史や制作における技法についてきちんと理解している。 ・表現方法を創意工夫し、創造的に表している。
評価の 視点	<ul style="list-style-type: none"> ○対象や事象をとらえる造形的な視点についてや美術史や制作技法についてきちんと理解している。 ○材料や用具の特性を生かし、意図に応じて表現方法を工夫し、表現の技能を身につけ追求しながら創造的に表している。
評価の 内容・方法	作品 定期考査 プリントなど

思考・判断・表現	
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・造形的な良さや美しさ、表現の意図について考え、心豊かに発想し構想を練ったり、美術に対する見方、感じ方を深めたりしている。
評価の 視点	<ul style="list-style-type: none"> ○造形的な良さや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、心豊かに発想し構想を練ったり美術や美術文化に対する見方、感じ方を深めたりしている。
評価の 内容・方法	作品 アイデアスケッチ プリント 定期考査など

主体的に学習に取り組む態度	
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価の 視点	<ul style="list-style-type: none"> ○美術の創造活動の喜びを味わい主体的に造形活動に取り組み、表現しようとしている。 ○作者の心情や表現の意図、工夫について感じ取り積極的に鑑賞活動に取り組んでいる。
評価の 内容・方法	授業への取り組み 鑑賞プリント 制作カード 作品 定期考査など

保健体育

知識・技能	
趣旨	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じた基本的な技能を身につけるとともに、生涯にわたって親しむための理論について理解している。また、個人生活における健康、安全について、課題の解決に役立つ基本的な事を理解している。
評価の 視点	○運動の特性に応じた基本的技能を身につけるとともに、仲間と連携した動きでゲームが展開できる。 ○各種目の特性やルール、戦術や技術の名称を理解している。
評価の 内容・方法	記録計測、実技テスト、授業中の行動観察(基本的技能を習得しているか) 定期テスト、授業中の行動観察(ルールや各種目の特性を理解しているかなど)、学習カード、保健ワーク

思考・判断・表現	
趣旨	生涯にわたって運動に親しむことを目指して、学習課題に応じた運動の取組や運動の保持及び体力を高めるための運動の組み合わせ方を工夫している。また、個人生活における健康・安全について、問題解決を目指して考え、判断し、それらを表している。
評価の 視点	○記録や技術の向上のために自己の課題を見つけ、表現することができる。 ○自己の課題に対して工夫して練習に取り組むことができる。
評価の 内容・方法	授業中の行動観察、(工夫して練習しているかなど)、学習カード 保健ワーク、グループでの話し合い活動

主体的に学習に取り組む態度	
趣旨	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとしている。
評価の 視点	○知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力をつけることに、粘り強く取り組むことができる。 ○粘り強い取り組みから自らの学習を調整しようとするすることができる。
評価の 内容・方法	授業中の行動観察、(授業中の発言)、学習カード(自己評価、相互評価)

技術

知識・技能	
趣旨	生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。
評価の 視点	○「材料と加工」「エネルギー変換」「生物育成」「情報」に関する技術についての基礎的・基本的な知識を身に付けている。 ○技術と社会や環境とのかかわりについて理解している。
評価の 内容・方法	定期考査 プリント(ワークシート) 提出物(作品など) 実習 実技

思考・判断・表現	
趣旨	生活や社会の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
評価の 視点	○「材料と加工」「エネルギー変換」「生物育成」「情報」に、課題を見つける。 ○課題の解決を目指し、工夫し創造し、技術を評価し活用している。
評価の 内容・方法	プリント(ワークシート) 提出物 実習 定期考査

主体的に学習に取り組む態度	
趣旨	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築にむけて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
評価の 視点	○「材料と加工」「エネルギー変換」「生物育成」「情報」に関心をもって、学習に取り組む。 ○技術のあり方や活用の仕方等に関する課題の解決のために、主体的に技術を評価し活用しようとする。
評価の 内容・方法	授業への取り組み(態度、忘れ物など) 実習への取り組み プリント(ワークシート)、提出物

家庭

知識・技能	
趣旨	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身につけている。
評価の 視点	○「家族・家庭生活」の基本的な機能について理解するとともに、その必要性に気付いている。 ○「衣食住の生活」に関する基本的・基礎的な知識を理解しているとともに、適切にできる。 ○「消費生活・環境」に関する基本的・基礎的な知識を理解しているとともに、適切にできる。
評価の 内容・方法	実習 実技テスト 提出物(作品など) 定期考査 プリント(ワークシート) ノート など

思考・判断・表現	
趣旨	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。
評価の 視点	○「家族・家庭生活」「衣食住の生活」「消費生活・環境」について問題を見出して課題を設定している。 ○見出した課題の解決策を考え、実践を評価・改善し、それらを論理的にまとめられている。
評価の 内容・方法	プリント(ワークシート) ノート 提出物(作品など) 実習 話し合い活動 グループ活動 定期考査 など

主体的に学習に取り組む態度	
趣旨	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
評価の 視点	○「家族・家庭生活」「衣食住の生活」「消費生活・環境」について、より良い生活の実現に向けて、理解した知識や身につけた技術を用いて、課題を解決したり、実践しようとする主体的に取り組んでいる。
評価の 内容・方法	プリント(ワークシート) ノート 話し合い活動 グループ活動 授業への取り組み 実習への取り組み など

英語

知識・技能	
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の特徴や決まりに関することを理解している。 ・実際のコミュニケーションの中で活用する技能を身につける。
評価の 視点	<p>○外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解しているか。</p> <p>○聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションの中で、英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを活用できる技能が身についているか。</p>
評価の 内容・方法	定期考査、小テスト、パフォーマンステスト、レシテーションなど

思考・判断・表現	
趣旨	コミュニケーションの目的、場面、状況に応じて英語を使用することができる。
評価の 視点	○目的、場面、状況に応じて日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、英語的な知識や技能を活用して表現したり伝え合ったりしているか。
評価の 内容・方法	定期考査、提出物(ノート、プリント、ワーク等)、パフォーマンステスト、言語活動など

主体的に学習に取り組む態度	
趣旨	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、コミュニケーションをする相手に配慮しながら主体的に英語を使用しようとしている。
評価の 視点	○目標に対して自分の英語力を振り返り、目標を達成するために見通しをもって、英語を伝える相手に配慮しながら、英語を使おうとしているか。
評価の 内容・方法	定期考査、提出物(ノート、プリント、ワーク等)、振り返りシート、レシテーション、パフォーマンステスト、言語活動など